



平成28年7月19日
総合政策局海外プロジェクト推進課

インド都市開発省との交流会議の開催結果について

国土交通省は、インド国都市開発省とともに「第9回都市開発に関する日印交流会議」を東京において開催しました。会議では、双方の政府及び民間企業により、都市交通、都市開発、水環境分野における活発な情報提供及び意見交換が行われました。

本交流会議は、2007年5月に結ばれた「都市開発分野に関する協力に係る日本国土交通省とインド国都市開発省との間の了解覚書」に基づき開催しています。

2007年の第1回開催以降、日印双方において都市開発分野の協力、交流の拡大により更なる都市の経済的、社会的な成長、発展に大きく貢献することを目的として開催しています。

1. 日時： 平成28年7月11日（月） 12：30～18：50
2. 会場： ザ・プリンス パークタワー東京
3. 主催： 国土交通省、インド国都市開発省（共催）
4. 出席者： 約30名

【日本側】国土交通省 技監 森 昌文
大臣官房技術参事官 七條 牧生 ほか
東北大学大学院、(独)都市再生機構、東日本高速道路(株)、
東京地下鉄(株)

【インド側】都市開発省 次官 ラジーブ・ガウバ ほか
チェンナイメトロ公社

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 海外プロジェクト推進課

藤井、提箸（さげはし）

電話：03-5253-8111（内線：25807、25816）

夜間直通：03-5253-8315

F A X：03-5253-1562

《結果概要》

(1) 都市交通分科会

日本側から、ベンガルール都市圏ITSマスタープラン、東京メトロの災害対策、地域公共交通としてのバスの利用促進策についての発表があり、続いてインド側から、インドにおける都市交通、チェンナイにおける都市交通システムについての発表がありました。

(2) 都市開発分科会

日本側から、大阪駅北地区（うめきた）の都市再生プロジェクト、建築分野における防災対策及び環境対策についての発表があり、続いてインド側から、インドにおける都市開発及び都市政策について発表がありました。

(3) 水環境分科会

日本側から、最近の日本の下水道政策、持続可能な下水処理技術について発表があり、続いてインド側から、京都とバラナシ間の相互協力分野、クリーン・インディア（※）について発表がありました。

※モディ首相が推進しているインドの街をきれいにするための取組

(4) 今後の取り組みの確認

各分科会においては、日印双方より活発な情報提供及び意見交換が行われました。これらの議論を経て、両者は、都市交通、都市開発、水環境分野における両国の一層の協力関係の重要性を再認識し、今後の取り組みとして、双方が下記の提案を行い受諾されました。

<インド国都市開発省の提案>

- スマートシティへの投融資促進に向けたプロジェクト情報の準備及びスマートシティとして選定された都市におけるプロジェクトを特定するため、関心を有する日本企業が参加するワークショップを開催することの可能性の探究
- 日本企業によるスマートシティにおける統合指令管理センターの整備の可能性（パイロットプロジェクトとして実施）
- チェンナイメトロ延伸の促進
- 日印の協力に関する詳細な特定の提案をとりまとめるため、次回の交流会議開催前のサブグループミーティングの開催またはビデオ会議を通じた意見交換の実施

<国土交通省の提案>

- スマートシティ整備への日本企業の参画支援
- 都市鉄道整備への協力
- 下水道技術に関する協力
- 都市圏高速道路整備への協力

(5) 閉 会

都市開発に関する日印双方の取り組む姿勢を確認し、双方の協力のもと、更なる協力・交流の推進を図ることになりました。最後に、インド国の都市開発省が、第10回都市開発に関する日印交流会議を2017年にインドにおいて開催することを提案し国土交通省は提案を受諾しました。

《会議の開催状況》



会議冒頭の様子



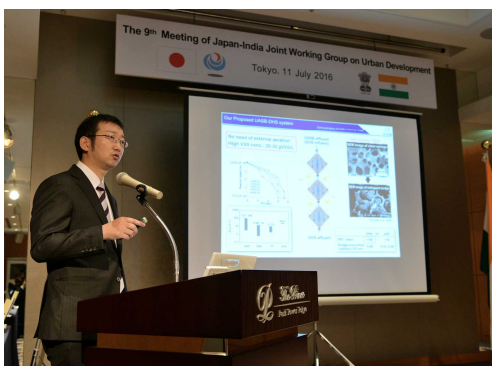
森技監による開会挨拶



ガウバ次官による開会挨拶



スィナ都市交通特任官による発表



東北大学大学院 久保田准教授
による発表



会議の様子